

令和 6 年度 施策評価表

施策	1502 若者や高齢者の就業支援	施策担当部 産業振興部 施策担当課 商工振興課	部長 浦山 優 課長 松尾 直紀
施策の方針	若者の地元での就労を促すとともに、高齢者の就業機会の確保を図るなど、多様な世代の就業支援に取り組む。		
関連するSDGsのゴール			

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市内高校卒業者の市内企業への就職率	%	16.5	17.2 20.1	17.9 17.0	18.6 18.1	19.3	20.0	97.3%	90.5%
② シルバー人材センター会員の就業実人員数	人/年	707	749 690	771 708	794 690	817	841	86.9%	82.0%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①県外や市外への就職希望者が年々増えている傾向にあり、目標値を0.5下回る結果となった。大村市内企業説明会は7月に開催され、過去最多の出展企業30社、参加生徒は221名となった。
- ②シルバー人材センターの就業実人員数については、昨年度の数値は下回ったものの、新型コロナウイルス感染症以前の水準に戻つつある。

施策経費

(単位:千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	20,429	20,925	18,551	
	国庫支出金	1,386	1,500	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	866	884	920	
	一般財源	18,177	18,541	17,631	
人件費	3,527	2,407	—		
フルコスト	23,956	23,332	—		

施策の概要（細施策）

150201	若者の就業支援	市内の高校卒業者の地元企業への就職を支援するため、地域や関係機関等と連携し、インターンシップや職場体験活動等の充実を図ります。 また、キャリア教育の一環として、高校生等を対象に「市内企業説明会」を開催します。
150202	高齢者の就業支援	高齢者の能力の積極的な活用や就業機会の確保など、高齢者の活躍の場を創出するため、シルバー人材センターによる人材育成や情報発信のほか、新たな就業分野の開拓などを積極的に促進します。 また、新たな事業分野への進出や雇用環境の整備など、高齢者を積極的に活用する企業を支援する国の制度等の周知に努めながら、高齢者の就業機会の確保を図ります。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

令和6年度の市内企業説明会は7月12日（金）に開催予定としており、開催に当たっては、参加高校や出展事業者の意見も踏まえながら、高校生と企業それぞれにとって実のある説明会となるよう進めていく必要がある。
 令和5年度のシルバー人材センターの会員数は県内2位、受注件数は県内1位であった。定年延長が行われていく中、これまで以上に新規会員の獲得及び受注件数の増加を図っていく必要がある。引き続き、高齢者が活躍できるよう、補助金を活用したサポートやシルバー人材センターの周知等を行っていく。また、会員数の増加にあわせ、事務所・作業所について移転も含め検討する必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

市内企業説明会について、令和6年度は過去最多の出展企業数と参加者数であった。もっと多くの高校生に参加していただくために、開催時期の見直しや開催方法についても出展企業や各高校等の進路指導担当者などから意見をいただき、総合的に判断していく。
 高齢者の活躍の場であるシルバー人材センターについては、会員数及び受注件数は前年より下回ったが受注件数は県内1位となっている。引き続き高齢者が活躍できる場を提供できるようサポートを行っていく。

令和7年度新規事業

	事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	